

# 簡単紹介「AI の利用と文献ナビゲーターの使い方」

## AI でレポートは楽になる？

答え：「考えるのが楽になる」だけです

生成 AI が広がり、「AI に聞けば何でも分かる」と思っていないですか？

でも、大学のレポートで大切なのは答えではなく、

- どんな問いを立てたか
- どんな資料を使ったか
- どう考えたか

です。

---

## AI は「代わりに書く人」ではありません

AI はあなたの代わりにレポートを書く存在ではありません。

一緒に考える相談相手です。

たとえば：

- 「何から調べればいいのか分からない」
- 「テーマが広すぎるので、もっと絞り込みたい」
- 「キーワードが思いつかない」

こんなときに、AI は力を発揮します。

---

## 文献ナビゲーターって何？

文献ナビゲーターは、

東北学院大学図書館が作った、文献探し専用の AI ツールです。ChatGPT の無料版のアカウントを持っている方なら誰でも利用できます。

- 話しかけるだけで
    - 問いを一緒に考えてくれる
    - どんな本・論文を探せばいいのか教えてくれる
    - 検索用のキーワードを整理してくれる
  - でも、レポート本文は書きません
-

## 使い方はとてもシンプル(3 ステップ)

STEP1：チャット仮面で「メニューを出して」と入力する。

次のメニューが出てきますので目的に合わせて選んでください。

1. **テーマ探索・文献検索ガイド**: 「何を書けばいいか決まらない」という初期段階から、具体的な研究課題の設定までトータルで支援します。
2. **資料の紹介(レベル別)**: いきなり難しい本を読んでも挫折しがちです。今のあなたの知識レベルに合った資料(新聞～専門書)を提示します。
3. **情報検索ツールの使い方ガイド**: OPAC(蔵書検索)、CiNii Research(論文検索)、ジャパンナレッジ(事典類)など、大学で必須のツールの使い方を具体的に教えます。
4. **文献検索の基礎を学ぶ**: 効率的な検索のコツや、キーワードの選び方を体系的に学びます。

STEP2:相談する (メニュー 1：テーマ探索・文献検索ガイドの場合)

「〇〇について書きたいけど、よく分からない」とそのまま聞いて OK。

テーマが絞り切れてなければ、例えば自分が調べたい分野(例：ジェンダー、日本経済、金融政策など)などでも良い。

STEP2：資料を選ぶ (メニュー 2：資料の紹介(レベル別)の場合)

新聞・新書・論文など、レベルに合った資料を教えてください。オンラインで入手できる資料にはリンクがついています。

STEP3：図書館で確かめる (メニュー 3：情報検索ツールの使い方ガイド)

オンライン上で入手できなかった資料は OPAC や CiNii を使って、所在を確認します。

---

## 大事なこと(ここだけ覚えて)

- ・ AI が言ったこと = 正解、ではありません
- ・ 最後に判断するのはあなた
- ・ 困ったら、図書館のカウンターへ  
人間の司書も、あなたの味方です。

---

注意:「情報の検証」「情報利用の責任者」はあなた自身です

文献ナビゲーターは、Web 検索で実在を確認した資料を提示する仕組みを備えていますが、最終的な信頼性のチェックは欠かせません。

1. **実在の確認**: AI が言った資料が、本当に OPAC や CiNii で見つかるか。
2. **根拠の確認**: その著者は専門家か？ 発行元は信頼できる組織か？
3. **対面相談**: AI の回答に疑問を感じたら、迷わず図書館のカウンターへ。司書と一緒に考え、確かな情報への道筋を案内します。

---

**文献検索ナビゲーターを使ってみる**  
(ChatGPT の無料版以上が必要です)

